

# Adonis アドニス [ふくじゅ草]



北海道看護協会 北網支部ニュース  
2017年11月 編集責任者：福田 尚子

北網支部では、研修会や交流会を通じて会員間の交流と連携を図り、地域住民のニーズに応えられるような支部活動を目指しています。今年度も支部ニュース「ふくじゅ草」を通して、支部活動の様子をお伝えします。今号では第34回看護研究会、働き続けられる職場づくり学習会のご報告と、支部企画研修「認知症高齢者ケア」の様子をご紹介します。

## 活動 報告

第34回看護研究会・働き続けられる職場づくり学習会  
7月9日（日）北見赤十字病院 多目的ホールミント

7月9日に開催した「第34回看護研究会・働き続けられる職場づくり学習会」。会場となった北見赤十字病院 多目的ホールには、122名が集まり「勤務環境の改善」をテーマにワーク・ライフ・バランスについての学習会を行いました。看護研究会では、7題の演題発表がありました。質疑応答が活発に行われ、各病院・施設の特殊性を明らかにし、今後の改善に繋がられる内容でした。



### <参加者としての感想>

7年ぶりの参加でしたが、振り返りになる事や関心を引く内容であり良い経験となりました。また同じ悩みを共有できたことも働く励みになりました。

### <発表者としての感想>

数年間に試行錯誤しながら自部署で取り組んだ災害対策について、原稿やパワーポイントを作成しながら振り返ることで、新たな気づきがありました。その気づきは現在の自部署での活動に繋がっています。また他施設の方に活動を聞いて頂いたことや、発表後に質問を頂いたことは今後の励みです。ありがとうございました。

## 研修 Report

支部企画研修「認知症高齢者ケア」  
8月5日（土）北見赤十字病院 大会議室

### 認知症高齢者ケア研修会に参加して

北見赤十字病院 篠木 靖子

今回の研修参加理由として検査や処置を優先するあまり認知症ケアや倫理について深く考えたことがなかったように思います。午前の部では高齢者の身体的・精神的特徴や認知症の基礎知識、倫理・支援を考えながらのケア方法など講義を受けました。午後の部ではグループワークによる事例検討を行い、普段よくある光景に自分を照らし合わせ、患者様の言動をどのように理解し対応してきたのかと反省することの多さに気づきました。認知症患者の言動を否定や制止せずなぜそのような言動になっているのか理解すること、相手がだれか理解できないほど重度の認知症になっても関わる側の表情や対応の仕方によって不安になったり安心したりするという内容から、日々の何気ない関わりの中でも意識することを忘れないようにしたいと思いました。



## お知らせ

- ・平成30年2月17日 会場：北見赤十字病院（予定）
- ・「三職能交流研修」
- ・「平成30年度北網支部大会」

次回掲載予定「基礎から学ぶフィジカルアセスメント」「小規模病院等施設間交流研修」参加レポート

## 編集後記

Adonis(アドニス)【ふくじゅ草】をホームページ上で掲載して5年目になりました。パソコンでの編集作業になるため、まだ不慣れな部分もありますが、皆様にわかりやすく支部活動をお伝えできるよう頑張っていきたいと思います。広報から急なお願いにも関わらず、研修参加のレポートを快くお引き受け下さった皆様ありがとうございます。そして今後も北網支部から皆様にお願いをするかもしれませんが、ご協力よろしくお願い致します。

北網支部広報委員：篠木・成瀬・龍田